



ポータブル PA システム

HK AUDIO POLAR8

取扱説明書

HK AUDIO 製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
この取扱説明書は、お読みになった後も、いつでも見られるところに保管してください。





安全上のご注意

取扱説明書には、お使いになる方や他の方への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

以下の注意事項をよくお読みの上、正しくお使いください。

- 注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

警告

- 必ず AC100V(50Hz/60Hz) の電源で使用してください。異なる電源で使用すると火災や感電の原因となります。
- 必ず専用の電源コードを使用してください。これ以外の物を使用すると火災の原因となります。また、電源コードは他の機器には使用しないでください。
- 電源コードの上に重い物を乗せたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったりしないでください。コードが破損して火災や感電の原因となります。電源コードが傷んだら、ただちに使用を中止して販売店に交換をご依頼ください。
- 確実にアース接続をしてください。また、アース線の着脱は電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。感電の原因となります。
- 水に入れたり、濡らさないでください。また、水が入った容器や金属片などを、機器の上に置かないでください。火災や感電の原因となります。
- 煙が出る、異臭がする、水や異物が入った、破損した等の異常がある時は、ただちに電源コードをコンセントから抜き、修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。
- 分解や改造は行わないでください。お客様が保守できる部品は内部にはありません。分解や改造は保証期間内でも保証の対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となります。
- 長時間使用しない時や落雷の恐れがある時は、電源コードをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因となります。また、雷が鳴り出したら金属部分や電源プラグには触れないでください。

注意

- 必要な電流容量を安全に供給できるよう、適切な電源回路を用意してください。
- 事前に機器の重量を確認し、けがをしないように持ち運びや設置を行ってください。
- 斜面や不安定な場所に設置しないでください。転倒 / 落下によるけがや故障の原因となります。また、滑りやすい面に置くと音の出力エネルギーによってスピーカーが動いてしまう恐れがあります。ゴムマットを下に敷くなどの滑り止め対策を施してください。

■以下のような場所に設置しないでください。火災や故障の原因となります。

- ・直射日光のあたる場所
- ・温度の特に高い場所、または低い場所
- ・湿気の多い場所
- ・ほこりの多い場所
- ・振動の多い場所
- ・塩害や腐食性ガスが発生する場所

■通気性の良い場所に設置し、通気口は絶対に塞がないでください。熱がこもって、火災や故障の原因となります。

■機器の移動は、電源コードや他の機器との接続ケーブルを全て外した上で行ってください。接続したまま移動すると、けがや故障、ケーブル破損の原因となります。

■配線は、全ての機器をコンセントから抜き、取扱説明書に従って正しく行ってください。接続したまま配線すると、感電する恐れがあります。また、誤配線によるショート等は火災の原因となります。

■濡れた手で、電源コードや他の機器との接続ケーブルの抜き差しをしないでください。感電の原因となります。

■電源を入れたり切ったりする前に、各機器の音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴覚障害や機器の破損の原因となります。また、機器の電源を ON にする時は、スピーカーの破損を防ぐために一番最後に本機の電源を入れてください。電源を OFF にする時は、一番最初に電源を切ってください。

■大きな音量に連続してさらされると、聴覚障害の原因となります。音量の設定は慎重に行ってください。

■過大入力を加えないでください。また、長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となります。

Bluetooth に関する注意

■本機の Bluetooth 接続による通信可能距離は、Bluetooth バージョン 5.0 対応機器で最大 40m、Bluetooth バージョン 4 以前の機器で最大 10m です。

Bluetooth 端末の通信能力、周囲の環境などの要因により、通信距離が変わります。また、Bluetooth 端末が圏外に移動したり、信号が妨げられる状態になると音切れが生じることもありますのでご注意ください。

■本機は電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は不要です。ただし、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。

- ・本機を分解 / 改造すること。
- ・本機に貼ってある証明番号が印刷されたラベルを剥がすこと。

梱包内容の確認

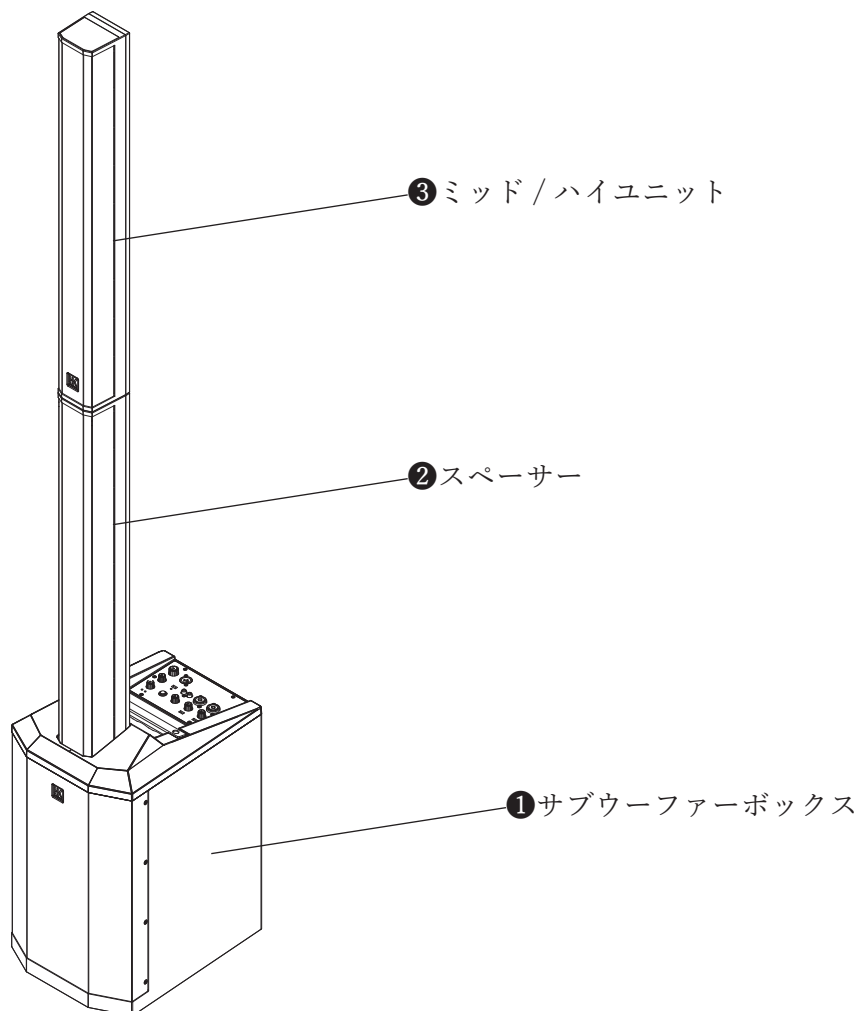
パッケージに次の物が入っていることを確認してください。

- 本体（サブウーファー一体型パワードミキサー）
- ミッド/ハイユニット（コラムユニット）、スピーサー
- サブウーファー用保護カバー
- コラムユニット用キャリングバッグ
- 電源ケーブル
- 当取扱説明書

目次

安全上のご注意	2
Bluetooth に関する注意	3
梱包内容の確認	4
1. 各部の名称	5
2. システムのセットアップ	6
3. 各部の名称と機能	7
4. Bluetooth	10
5. 製品仕様	12
6. 保証について	14

1. 各部の名称



① サブウーファーボックス

パワーアンプ、ミキサーと、低音域を出力するサブウーファーユニットを一つのボディに収納しています。上部に②③のユニットを直接接続するコネクターシステムを備えています。

② スペーサー

①のサブウーファーボックスと、③のミッド/ハイユニットの間に接続し、中音域/高音域が聴衆に届く高さを調整します（次ページ画像参照）。サブウーファーボックスの上部に備えられたコネクターソケットに直接差し込みます。ケーブル等の結線は不要です。

※本機はスペーサーなしでも動作します。

③ ミッド/ハイユニット（コラムユニット）

中音域/高音域を再生するためのスピーカーユニットです。

2. システムのセットアップ

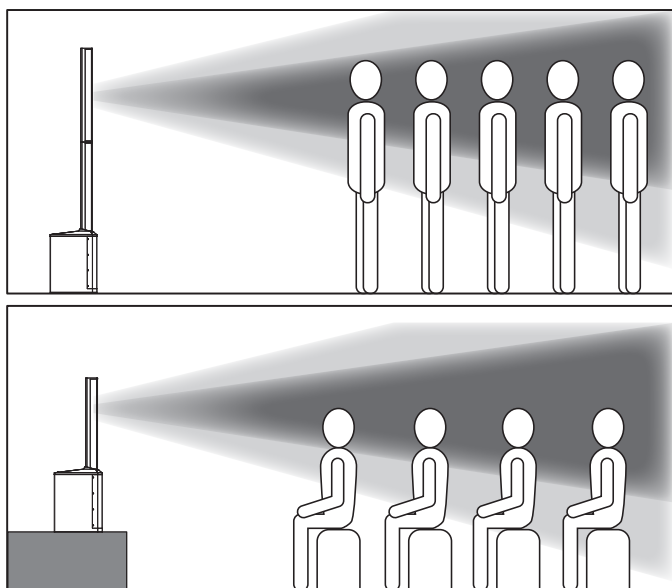
① コンポーネントを接続する

サブウーファーを水平で安定した場所に設置します。

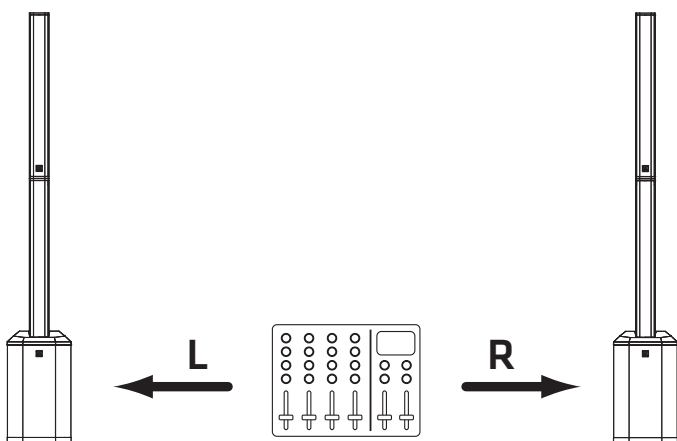
スぺーサーとミッド/ハイユニットをサブウーファーに接続します。

※しっかりとコネクタに接続されていることを確認してください。

※本機はスぺーサーなしでも動作します。会場の状況によって、ミッド/ハイユニットが聴衆の頭の高さくらいになるように設置することをおすすめします。

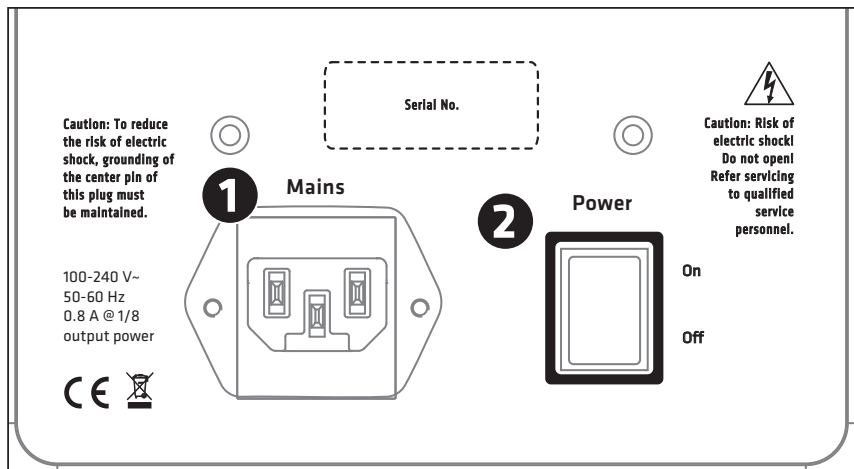


② ステレオの設定



本機を2台用意し、ステレオシステムとして使用する場合、ミキサーが別途必要になります。ミキサーのメインアウト左チャンネルを左側のシステムへ、右チャンネルを右側のシステムへ接続してください。両方のシステムが同じ設定になるように調整してください。

3. 各部の名称と機能

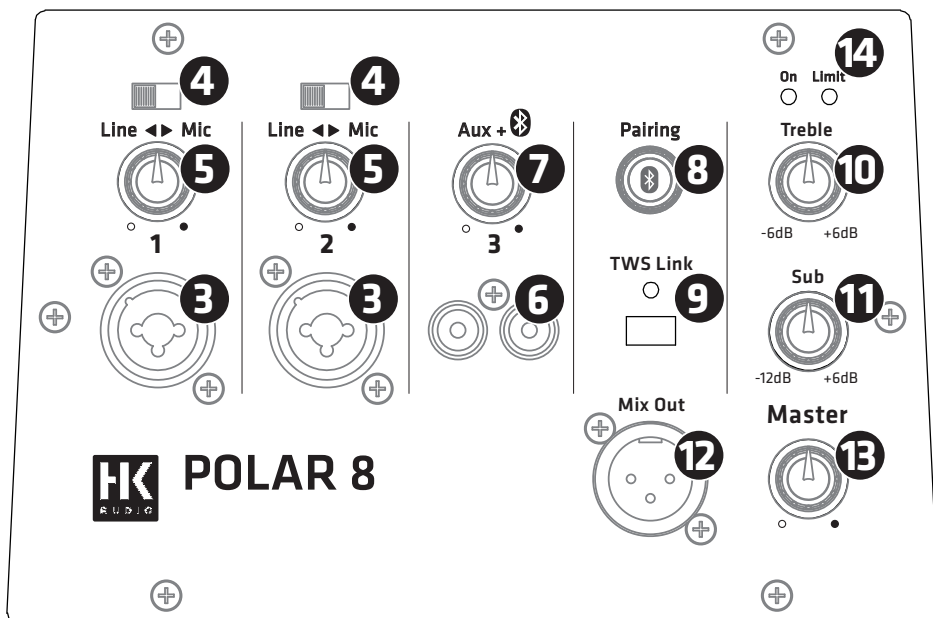


① 電源端子

付属の電源ケーブルを接続してください。

② 電源スイッチ

電源の ON/OFF を切り替えるスイッチです。



③ チャンネル 1/2 MIC/LINE 入力端子

XLR (バランス) またはフォンプラグ (バランスまたはアンバランス) どちらのケーブルも接続できるコンボタイプの入力端子です。

④ チャンネル 1/2 感度切替スイッチ (Line/Mic)

プリアンプの感度とインピーダンスを切り替えるセレクタースイッチです。

Line ポジションは、ミキサーやキーボード、CD/MP3 プレーヤーなど、ラインレベルの機器を接続するためのものです。Mic ポジションは、ダイナミックマイクロホンの接続に使用します。

⑤ チャンネル 1 / 2 ボリューム

チャンネル毎の音量を調整するつまみです。

左一杯の位置に絞ると無音になり、右一杯に回すと最大音量になります。

⑥ チャンネル 3 AUX 入力端子

CD/MP3 プレーヤー、スマートフォン、DJ ミキサーなどのオーディオ機器を接続する入力端子 (2x RCA ピンジャック) です。

⑦ チャンネル 3 ボリューム

AUX 入力と Bluetooth 入力の信号レベルを調整するつまみです。AUX 入力を使用しながら Bluetooth ストリーミングを行う場合は、Bluetooth 端末の音量を AUX 入力信号の音量に合わせて、2つの信号レベルのバランスを取ってください。

⑧ ペアリングボタン

ペアリングボタンを押すと、本機と Bluetooth 端末の接続が開始されます。

端末の Bluetooth 機能を有効にして、"HK Audio POLAR " を選択します。

接続待機中はボタン上の青い LED が点滅し、本機と Bluetooth 端末の接続が完了すると、LED は常時点灯に変わります。

詳しくは、10 ページ「Bluetooth」をご覧ください。

⑨ TWS リンク

2 台の POLAR 8 を用意することで、TWS (True Wireless Stereo) 方式の Bluetooth オーディオ・ストリーミングでステレオ再生することができます。

まず 1 台目の POLAR 8 を Bluetooth 機器と接続します。

次に両方の POLAR 8 の TWS Link スイッチを順番に押して、Bluetooth TWS 接続の設定を開始します。

TWS 接続の準備ができると、TWS の青い LED が点滅します。

両方の POLAR 8 が接続されると、TWS LED は常時点灯になります。

TWS 接続については、11 ページも併せてご覧ください。

⑩ トレブル

高音域を調整するつまみです。コントロール範囲は、-6dB ~ +6dB、0dB はセンターポジションです。

用途や好みに応じ、左に回して全体のサウンドを「ダーク」にしたり（高音の多い信号やマイクがハウリングを起こしている場合）、右に回して「ブライト」にしたり（音がこもっている場合）等、適宜調整してください。

⑪ サブ

低音域を調節するつまみです。コントロールの範囲は、-12 dB ~ +6 dB で、0 dB はセンターポジションです。

ミッド/ハイユニットとサブウーファースの音量比がバランスよくなるように、センターポジションを基準として調整してください。

⑫ ミックスアウト XLR 出力端子

全入力チャンネルがミックスされた音声信号を出力します。別の POLAR やミキサー、パワー・モニタースピーカーなどに接続できます。

※信号出力点は、各チャンネルのボリュームコントロールの後、マスターボリュームの前、つまり "プリマスター" に配置されています。トレブル、サブの設定は、このミックスアウトから出力される信号に影響しません。

⑬ マスター

本機の音量を調整するつまみです。

⑭ ステータスインジケータ

本機の電源が入ると、左側緑の On LED が点灯します。右側赤色の Limit LED は、保護回路が応答していることを示します。

※本機は時々発生する信号のピークに対処するための十分なヘッドルームを備えています。しかし、Limit LED が点灯し続けたり、音が歪んでいる場合はボリュームを下げてください。

4. Bluetooth

本機はスマートフォンやタブレット、Bluetooth 対応プレーヤーなどと Bluetooth で接続することで、音声データをワイヤレス再生することができます。

また、Bluetooth TWS (True Wireless Stereo) により、2 台の POLAR 8 をステレオシステムとしてペアリングし、ストリーミングでステレオ再生することも可能です。

Bluetooth TWS (11 ページの TWS リンク機能) は、Bluetooth 端末のオーディオ・ストリーミング信号のみを 2 台の POLAR 8 に送信します。

※ Bluetooth で送信できるのは、Bluetooth 端末からのステレオ信号のみとなります。

一方の POLAR 8 に接続されたマイク信号やライン信号を、もう一方の POLAR 8 に送る際は、別途ケーブル接続が必要です。

① Bluetooth 端末との接続

1. ペアリングボタンを押して、Bluetooth 接続を行います。ペアリング時間内 (120 秒) は、ペアリングボタンがゆっくり点滅し、接続準備ができていることを示します。
2. Bluetooth 端末の Bluetooth メニューで、"HK Audio POLAR 8" を選択し、接続を確立します。
3. 接続に成功すると、ペアリングボタンが点滅から常時点灯に変わります。
4. Bluetooth 端末及びチャンネル 3 の音量レベルを少しずつ上げてください。

・ 120 秒以内に Bluetooth 接続を確立できない場合は、ペアリングボタンは急速な点滅となり、その後ペアリングプロセスは終了します。

・ ペアリングされている Bluetooth 機器との接続が切れた場合 (接続範囲から外れた場合など) にも、ペアリングボタンが 120 秒間点滅します。この時間内に Bluetooth 機器が範囲内に戻ると、自動的に接続が再確立されます。

※ 接続が 120 秒以上中断された場合、Bluetooth 接続を再度、手動で行う必要があります。これを行うには、POLAR 8 ペアリングボタンを短く押します。

・ ペアリングボタンを押すと、常に新しい Bluetooth 接続設定が有効になり、既存の接続 (TWS を含む) が切断されます。

※ Bluetooth 接続時は、Bluetooth 端末の通知音、着信音、システム音等が本機側で再生されることがあります。本機との接続時には、Bluetooth 端末のこれらの機能を無効にしてください。

② 2台目のPOLAR 8をBluetooth TWSに接続(トゥルーワイヤレスステレオ)

2台のPOLAR 8をBluetooth TWSでペアリングすることで、ステレオでのワイヤレス音楽再生が可能になります。Bluetoothプレーヤーに接続したPOLAR 8は、ステレオ信号を受信して右側を再生します。左側はBluetoothで2台目のPOLAR 8に転送されます。

2台のPOLAR 8をBluetooth TWSでペアリングするには、次の手順で行います。

1. Bluetooth端末に接続しているPOLAR 8のTWSリンクスイッチを押すと、TWSのLEDがゆっくり点滅し始めます。
2. 2台目のPOLAR 8のTWS Linkスイッチとペアリングボタンを押すと、LEDが点滅し、1台目のPOLAR 8とBluetooth TWS接続が確立されます。
3. 接続に成功すると、両方のPOLAR 8のペアリングボタンとTWS LEDが点滅から点灯に変わります。

Bluetooth TWS接続を終了するには、POLAR 8の片方または両方のTWS Linkスイッチを押します。TWS LEDが消灯し、TWS接続が切断されます。

2台のPOLAR 8は、両方のTWSスイッチを押している間、電源を切っても再び電源を入れると、互いの範囲内にあれば、自動的にBluetooth TWS接続を確立します。

③ Bluetooth 端末を変更する

Bluetooth端末に接続したPOLAR 8のペアリングボタンを押すと、現在接続しているBluetooth端末を切断し、別のBluetooth端末を接続することができます。

TWSモードで使用している場合、Bluetoothデバイスを変更した際は両方のPOLAR 8を再度ペアリングする必要があります。両方のPOLAR 8のTWSスイッチをオフにして、再度オンにしてください。

④ Bluetooth の通信距離

本機のBluetooth接続による通信可能距離は、Bluetoothバージョン5.0対応機器で最大40m、Bluetoothバージョン4以前の機器で最大10mです。

※ Bluetooth端末の通信能力、周囲の環境などの要因により、通信距離が変わります。また、Bluetooth端末が圏外に移動したり、信号が妨げられる状態になると音切れが生じることもありますのでご注意ください。

5. 製品仕様

POLAR 8 System	
最大音圧レベル (ハーフスペース)	118 dB half space
周波数レンジ +/- 10 dB	50 Hz – 20 kHz
パワーアンプ出力 (RMS)	300 W
パワーアンプ出力 (ピーク)	1200 W
パワーアンプ形式	クラス D - バイアンプ
クロスオーバー周波数	220 Hz, 24 dB/oct.
アクティブ保護回路	低電圧、過熱、過電流、リミッター
入力	2x XLR コンボジャック (バランス)、2x RCA, Bluetooth オーディオ
出力	Mix Out, Bluetooth TWS リンク
最大入力レベル	+19 dBu
EQ	Treble, Sub レベル
Bluetooth	Bluetooth Ver.5.0
エンクロージャー	ポリプロピレン /ABS
仕上げ	ブラック塗装
全高 (システム全体)	202.9 cm
質量	19.3 kg

POLAR 8 Subwoofer	
ウーハーユニット	1x 8" , 1.5" ボイスコイル
フロントグリル	1.2mm ブラックメタルグリル
寸法 (WxHxD)	30.2 x 54 x 39 cm
質量	13.8 kg

POLAR 8 Mid/High Unit	
スピーカーユニット	6 x 2.5" , 1" voice coil, ネオジウム
カバレッジ	120° x 45°
フロントグリル	1.0mm ブラックメタルグリル
寸法 (WxHxD)	9.4 x 82 x 9.8 cm
質量	3.2 kg

POLAR 8 Spacer	
フロントグリル	1.0mm ブラックメタルグリル
寸法 (WxHxD)	9.4 x 82 x 9.8 cm
質量	2.3 kg

General Technical Specifications	
消費電流	0.8 A/100-240 V AC

6. 製品保証について

当製品の保証期間はご購入後3年間です。

HK AUDIO の web サイトにてオンラインユーザー登録を行うことによって、2年の延長保証を付与いたします。合計5年の保証期間となります。

以下 URL よりご登録手続きください。

<https://hkaudio.com/warranty-registration/>

保証登録は、ご購入日から30日以内に行われた場合のみ有効です。

HK AUDIO 保証規定

当説明書の記載に基づき、正常な操作を行い、通常状況の使用時に発生した故障について、保証修理対応いたします。

なお、下記に該当する場合は、保証規定対象外として有償修理対応となります。

- ・ 消耗部品（スピーカーユニット、ツイーターユニット、ヒューズ等）の交換が必要になる場合
- ・ 不適切な取り扱いや、異常電圧、過大入力、過大音量が原因で生じた故障（スピーカーユニット、ツイーターユニットの焼損、破損を含みます）
- ・ 弊社以外での修理や、改造がなされている場合
- ・ 落下や転倒等による外部衝撃及天災が原因となる故障
- ・ 液体等の異物が製品に流入、付着したことが原因となる故障
- ・ その他、メーカー判断により保証対象外とみなされる原因による場合

当保証は新品購入のファーストユーザー様のみ適応となります。製品を譲渡された場合、保証を引き継ぐことは出来ません。

保証修理の際には、当取扱説明書及びご購入履歴が必要となります。

ご購入時の確認メール、納品書は大切に保管ください。

使用方法、故障などでお困りの際は、以下の連絡先へお問い合わせください。

お問い合わせ窓口

ヒビノ株式会社 カスタマーサポート

TEL：03-5419-1550 メール：marketing@hibino.co.jp

※受付時間：月～金曜日 9:30～18:00(祝祭日及び弊社指定休日を除く)



●商品写真やイラストは、実際の商品と一部異なる場合があります。●掲載内容は発行時のもので、予告なく変更されることがあります。変更により発生したいかなる損害に対しても、弊社は責任を負いかねます。●記載されている商品名、会社名等は各社の登録商標、または商標です。

HIBINO

ヒビノ株式会社 EC事業統括部

〒105-0022 東京都港区海岸2-7-70

TEL: 03-5419-1550 FAX: 03-5419-1565

<https://www.hibino.co.jp/> E-mail: fullten@hibino.co.jp